

ごあいさつ

高松市小学校管楽器教育研究グループ『ビバ!プラス』 代表

高松市立男木小学校 校長 徳田 仁司



響き合う心をいつまでも

みなさんこんにちは。ようこそ、ビバ!プラスにおいでくださいました。今回でこのビバ!プラスのコンサートも10回目となりました。これまで続けてこられたのも関係者の皆様のご支援のお陰であると深く感謝申し上げます。

原点に帰ってこのコンサートのご紹介をしますと、香川県吹奏楽祭(平成6年度)において各学校の発表と合同演奏の機会がありました。最初は、バラバラだったハーモニーも何度かの合同練習を積み重ねたり、同じパー

トでの交流を通したりして心も響きもひとつになっていき、演奏本番では何ともいえない充実感と達成感を感じることができました。

その感動が忘れられず、4年後の平成11年に第1回のコンサートを企画することになりました。当時は、複数の学校が合同でコンサートをするために、どのような手順で準備や運営をしていけばいいのかわからない状態でした。まさに手作りのコンサートとなりましたが、先生方の連携と保護者の皆様の多大なご協力があって無事開催することができました。当日、それぞれの学校の発表は、熱のこもった真剣な演奏、楽しい演奏に合わせたアイデアあふれる素晴らしい出し物(保護者の方や先生方もいっしょに)もあり、聴衆の皆さんをとっても楽しませるものでした。また、6年生を中心に合同バンドが編成され、卒業間近の子どもたちにとって、他校の友だちやゲストの皆さんといっしょの演奏はとても感動的なものでした。まさに合同練習を通しての共通体験・感動を共有する素晴らしさは、深く子どもたちの心に刻まれ、生き続けるものとなりました。

その演奏形態は伝統として引き継がれ、各学校の素晴らしい演奏&創意溢れる演出と合同演奏はこのビバ!プラスの看板となりました。本日は、これまでの10年分を味わっていただけるようにOBや保護者の方にも演奏に加わっていただきました。10回記念となる演奏会をごゆっくり楽しんでいただければ幸いです。

最後になりましたが、このコンサート開催にあたりましてご支援くださった学校・保護者をはじめ関係機関の皆様に深く感謝申し上げます。

香川県吹奏楽連盟

理事長 石川 孝司



本日は、ビバ!プラス「第10回小学校バンドフェスティバル」にご来場いただきましてありがとうございます。

本年も関係各位のご尽力により、この素晴らしいフェスティバルが開催できますことをたいへん喜んでおります。

児童達は音楽を聴く楽しさだけでなく、自ら演奏する喜び、他の楽器とのハーモニーの美しさに感動したり、仲間と作り上げた音楽に対する感情の高ぶり等を共有しております。

吹奏楽連盟が実施しておりますアンサンブルコンテスト地区大会・香川県大会がついに先日行われました。若いフレッシュな小学生の皆さんが、技術的にも音楽的にも高いレベルの演奏を展開して、その熱い思いが会場の聴衆に届けられました。

今日のフェスティバルのステージでは、先のアンサンブルの発表にむけ培われた技術・音楽を、吹奏楽・金管バンド合奏の形で発表します。子どもたちの趣向を凝らした楽しくひたむきな演奏をお聴きください。

本日の演奏会に、特別演奏者として出演してくださる國末貞仁さん、川上侑紀さんに厚く御礼申し上げます。

ビバ!プラス「小学校バンドフェスティバル」がますます盛会になりますよう、皆様方の温かいご支援ご声援をお願い申し上げます。

最後に、このフェスティバル開催にあたりご協力いただきました皆様方に心より御礼申し上げます、ご挨拶にかえさせていただきます。